

平成31年度長浜水道企業団水道事業会計予算の概要

長浜水道企業団

1. 予算の概要

平成31年度は、新地域水道ビジョンに基づき、水道事業と簡易水道の統廃合を行うための基本計画の作成、認可変更、取水施設の設計業務、建設工事を行います。

財政状況は極めて厳しく、高月上水道事業、木之本上水道事業、余呉木之本簡易水道、西浅井簡易水道は赤字予算となっています。木之本上水道事業は2億円近い累積赤字で、西浅井簡易水道事業も累積赤字となる見込みです。

	企業団	びわ	浅井	湖北	高月	木之本	余呉木之本	西浅井
収入	1,556,957	150,798	223,656	140,171	169,509	178,001	123,486	88,822
支出	1,316,190	105,870	217,763	133,966	176,033	194,014	135,261	98,456
差引	240,767	44,928	5,893	6,205	△6,524	△16,013	△11,775	△9,634
累積	854,954	142,576	95,085	284,212	183,853	△191,018	45,116	△4,141

2. 業務の予定量

人口の減少や大口利用者の地下水転換により水道使用量は減少を続けています。浅井上水道事業、湖北簡易水道事業、余呉木之本簡易水道事業、西浅井簡易水道事業は、水道料金改定により水道料金収入が増加する見込みです。また、企業団水道事業以外では、漏水が多発し、有収率が低下しています。漏水調査等維持管理の強化を図ります。

項目	区域	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
給水件数	企業団	30,800件	29,900件	900件(3.0%)
	びわ	2,460件	2,460件	0件(0.0%)
	浅井	4,780件	4,710件	70件(1.5%)
	湖北	2,930件	2,910件	20件(0.7%)
	高月	3,640件	3,690件	△50件(△1.4%)
	木之本	2,190件	2,150件	40件(1.9%)
	余呉木之本	1,710件	1,700件	10件(0.6%)
	西浅井	1,620件	1,590件	30件(1.9%)
年間給水量	企業団	8,886,000m ³	8,829,000m ³	57,000m ³ (0.6%)
	びわ	1,330,000m ³	1,172,000m ³	158,000m ³ (13.5%)
	浅井	1,884,000m ³	1,923,000m ³	△39,000m ³ (△2.0%)
	湖北	1,238,000m ³	1,089,000m ³	149,000m ³ (13.7%)
	高月	1,605,000m ³	1,388,000m ³	217,000m ³ (15.6%)
	木之本	821,000m ³	836,000m ³	△15,000m ³ (△1.8%)
	余呉木之本	698,000m ³	675,000m ³	23,000m ³ (3.4%)
	西浅井	639,000m ³	606,000m ³	33,000m ³ (5.4%)
1年間に浄水場から送る水道水の量				

項目	区域	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
年間有収水量	企業団	7,817,000m ³	7,845,000m ³	△28,000m ³ (△0.4%)
	びわ	798,000m ³	797,000m ³	1,000m ³ (0.1%)
	浅井	1,248,000m ³	1,259,000m ³	△11,000m ³ (△0.9%)
	湖北	800,000m ³	823,000m ³	△23,000m ³ (△2.8%)
	高月	997,000m ³	1,000,000m ³	△3,000m ³ (△0.3%)
	木之本	635,000m ³	641,000m ³	△6,000m ³ (△0.9%)
	糸林本	437,000m ³	447,000m ³	△10,000m ³ (△2.2%)
	西浅井	437,000m ³	437,000m ³	0m ³ (0.0%)
水道料金の対象となった水量(消火、洗管、漏水等を除いた量)				
有収率	企業団	88.0%	88.9%	△0.9P
	びわ	60.0%	68.0%	△8.0P
	浅井	66.3%	65.5%	0.8P
	湖北	64.6%	75.6%	△11.0P
	高月	62.1%	72.1%	△10.0P
	木之本	77.4%	76.6%	0.8P
	糸林本	62.6%	66.2%	△3.6P
	西浅井	68.4%	72.1%	△3.7P
浄水場からの給水量に対する有収水量の割合				
水道料金 (税抜)	企業団	1,367,321千円 (1,254,529千円)	1,356,423千円 (1,255,947千円)	10,898千円(0.8%) (△1,418千円/△0.1%)
	びわ	133,405千円 (122,401千円)	134,932千円 (124,937千円)	△1,527千円(△1.1%) (△2,536千円/△2.0%)
	浅井	199,800千円 (183,318千円)	189,510千円 (175,472千円)	10,290千円(5.4%) (7,846千円/4.5%)
	湖北	126,967千円 (116,493千円)	108,592千円 (100,548千円)	18,375千円(16.9%) (15,945千円/15.9%)
	高月	129,977千円 (119,255千円)	129,549千円 (119,953千円)	428千円(0.3%) (△698千円/△0.6%)
	木之本	141,806千円 (130,108千円)	142,291千円 (131,751千円)	△485千円(△0.3%) (△1,643千円/△1.2%)
	糸林本	75,231千円 (69,025千円)	65,435千円 (60,588千円)	9,796千円(15.0%) (8,437千円/13.9%)
	西浅井	72,403千円 (66,430千円)	66,084千円 (61,189千円)	6,319千円(9.6%) (5,241千円/8.6%)

3. 収益的収支

(1) 企業団水道事業

収入では、水道料金収入は横ばいとなる見込みです。長浜市下水道使用料の徴収事務に関する収入の事業ごとの振り分け、収入科目の見直しを行ったため、各事業の負担金と受託事業収益が増減しています。収入全体ではほぼ横ばいとなる見込みです。

支出では、長浜市下水道使用料の徴収事務に要する経費の支出科目の見直しを行ったため、各事業の給配水費と総係費が減少し、業務費が増加しています。企業債新規借入れの減少や低金利により支払利息が減少します。また、平成30年度に締結した浄水場運転管理と外部施設点検業務の委託契約において、当初見込みよりも低価格で契約できたため、各原浄水費が減少しています。

収入	1,674,971千円	(消費税抜	1,556,957千円)
支出	1,432,018千円	(消費税抜	1,316,190千円)
差引	242,953千円	(消費税抜	240,767千円)
		前年度繰越利益剰余金(予定)	614,187千円(平成30年度までの剰余金)
		当年度未処分利益剰余金	854,954千円(平成31年度末の剰余金)

収益的収入および支出(企業団)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
水道事業収益	1,674,971	1,659,507	15,464(0.9%)
水道料金	1,367,321	1,356,423	10,898(0.8%)
受託工事収益	5,964	3,450	2,514(72.9%)
受託事業収益	39,890	43,483	△3,593(△8.3%)
加入金	47,542	30,295	17,247(56.9%)
負担金	25,652	38,427	△12,775(△33.2%)
長期前受金戻入	173,763	173,509	254(0.1%)
その他	14,839	13,920	919(6.6%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
水道事業費用	千円 1,432,018	千円 1,438,074	千円(%) △6,056(△0.4%)
原浄水費	234,585	254,230	△19,645(△7.7%)
	浄水場や配水池などの運転および維持管理、水質検査などの費用		
給配水費	155,399	145,580	9,819(6.7%)
	配水管や給水管の維持管理の費用		
業務費	111,657	104,693	6,964(6.7%)
	検針、集金や窓口業務にかかる費用		
総係費	125,086	129,023	△3,937(△3.1%)
	議会、監査、広報、庁舎管理その他総務関係の費用		
減価償却費等	568,450	566,356	2,094(0.4%)
	内部留保として積み立て、施設の更新や借入金の返済に使用するもの		
支払利息	132,587	150,137	△17,550(△11.7%)
	企業債の利息の支払		
その他	5,007	5,007	0(0.0%)
予備費	5,000	5,000	0(0.0%)
消費税	94,247	78,048	16,199(20.8%)

(税込み)

(2) びわ上水道事業

収入では、全体として減少が見込まれます。

支出では、引き継ぎ後に開始した廃止施設の除却が完了したため、減価償却費等が減少しています。企業債の返済が進んだため支払利息が減少します。人件費の支出科目の見直しにより原浄水費が減少し、業務費が増加しています。支出全体では減少が見込まれます。

収入	162,033千円（消費税抜	150,798千円)
支出	117,105千円（消費税抜	105,870千円)
差引	44,928千円（消費税抜	44,928千円)
	前年度繰越利益剰余金（予定）	97,648千円（平成30年度までの剰余金）
	当年度未処分利益剰余金	142,576千円（平成31年度末の剰余金）

収益的収入および支出（びわ）

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円（%）
びわ水道事業収益	162,033	163,445	△1,412（△0.9%）
水道料金	133,405	134,932	△1,527（△1.1%）
受託工事収益	2,255	2,295	△40（△1.7%）
受託事業収益	3,605	1,722	1,883（109.3%）
加入金	462	435	27（6.2%）
負担金	2,100	2,964	△864（△29.1%）
長期前受金戻入	19,535	20,285	△750（△3.7%）
その他	671	812	△141（△17.4%）

（税込み）

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円（%）
びわ水道事業費用	117,105	146,537	△29,432（△20.1%）
原浄水費	28,310	42,765	△14,455（△33.8%）
給配水費	8,324	10,759	△2,435（△22.6%）
業務費	13,735	2,303	11,432（496.4%）
総係費	886	985	△99（△10.1%）
減価償却費等	45,845	69,494	△23,649（△34.0%）
支払利息	9,634	11,390	△1,756（△15.4%）
その他	532	532	0（0.0%）
予備費	1,000	1,000	0（0.0%）
消費税	8,839	7,309	1,530（20.9%）

（税込み）

(3) 浅井上水道事業

収入では、3段階で行ってきた水道料金改定の最後の改定を行うため、水道料金の増加が見込まれます。

支出では、下水道と同時埋設を行った配水管の減価償却が終了しつつあるため減価償却費が減少し、企業債の返済が進んだため支払利息と負担金が減少します。人件費の支出科目の見直しにより原浄水費が減少し、業務費が増加しています。支出全体でも若干の減少が見込まれます。また、その他費用において、平成30年度国庫補助金に含まれていた消費税相当額を国に返還します。なお、簡易水道時代の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する9,663千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	240,400千円（消費税抜	223,656千円）
支出	234,507千円（消費税抜	217,763千円）
差引	5,893千円（消費税抜	5,893千円）
	前年度繰越利益剰余金（予定）	89,192千円（平成30年度までの剰余金）
	当年度末未処分利益剰余金	95,085千円（平成31年度末の剰余金）

収益的収入および支出（浅井）

収入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円（%）
浅井水道事業収益	240,400	229,893	10,507(4.5%)
水道料金	199,800	189,510	10,290(5.4%)
受託工事収益	1,074	1,038	36(3.5%)
受託事業収益	6,892	3,234	3,658(113.1%)
加入金	1,650	1,555	95(6.1%)
負担金	12,662	14,384	△1,722(△12.0%)
長期前受金戻入	17,220	19,033	△1,813(△9.5%)
その他	1,102	1,139	△37(△3.2%)

(税込み)

支出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円（%）
浅井水道事業費用	234,507	236,673	△2,166(△0.9%)
原浄水費	45,739	52,524	△6,785(△12.9%)
給配水費	11,271	14,960	△3,689(△24.7%)
業務費	21,001	4,658	16,343(350.9%)
総係費	1,454	1,677	△223(△13.3%)
減価償却費等	121,017	128,645	△7,628(△5.9%)
支払利息	19,986	21,820	△1,834(△8.4%)
その他	989	1,453	△464(△31.9%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	12,050	9,936	2,114(21.3%)

(税込み)

(4) 湖北簡易水道

収入では、3段階で行ってきた水道料金改定の最後の改定を行うため、水道料金の増加が見込まれます。

支出では、簡易水道統合事業が完了したため減価償却費が増加しています。また、その他費用において、平成30年度国庫補助金に含まれていた消費税相当額を国に返還します。支出全体でも増加が見込まれます。なお、簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する5,011千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	150,835千円（消費税抜	140,171千円）
支出	144,630千円（消費税抜	133,966千円）
差引	6,205千円（消費税抜	6,205千円）
	前年度繰越利益剰余金（予定）	278,007千円（平成30年度までの剰余金）
	当年度未処分利益剰余金	284,212千円（平成31年度末の剰余金）

収益的収入および支出（湖北）

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円
湖北水道事業収益	150,835	135,333	15,502(11.5%)
水道料金	126,967	108,592	18,375(16.9%)
受託工事収益	1,074	3,875	△2,801(△72.3%)
受託事業収益	4,365	2,029	2,336(115.1%)
加入金	902	850	52(6.1%)
負担金	7,000	8,299	△1,299(△15.7%)
長期前受金戻入	9,246	10,458	△1,212(△11.6%)
その他	1,281	1,230	51(4.1%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円(%)
湖北水道事業費用	144,630	139,330	5,300(3.8%)
原浄水費	27,521	27,954	△433(△1.5%)
給配水費	9,112	14,531	△5,419(△37.3%)
業務費	5,594	2,720	2,874(105.7%)
総係費	899	1,222	△323(△26.4%)
減価償却費等	80,698	75,023	5,675(7.6%)
支払利息	10,102	10,830	△728(△6.7%)
その他	1,820	619	1,201(194.0%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	7,884	5,431	2,453(45.2%)

(税込み)

(5) 高月上水道事業

収入では、ほぼ横ばいが見込まれます。

支出では、人件費の支出科目の見直しにより原浄水費が減少し、業務費が増加しています。また、減価償却未計上資産を償却します。なお、高月上水道に統合された簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する1,955千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	180,497千円（消費税抜	169,509千円)
支出	187,021千円（消費税抜	176,033千円)
差引	△6,524千円（消費税抜	△6,524千円)
	前年度繰越利益剰余金（予定）	190,377千円（平成30年度までの剰余金）
	当年度未処分利益剰余金	183,853千円（平成31年度末の剰余金）

収益的収入および支出（高月）

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円
高月水道事業収益	180,497	176,912	3,585(2.0%)
水道料金	129,977	129,549	428(0.3%)
受託工事収益	1,539	1,565	△26(1.7%)
受託事業収益	5,763	2,656	3,107(117.0%)
加入金	1,056	995	61(6.1%)
負担金	4,175	3,769	406(10.8%)
長期前受金戻入	36,960	37,406	△446(△1.2%)
その他	1,027	972	55(5.7%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円(%)
高月水道事業費用	187,021	185,024	1,997(1.1%)
原浄水費	34,324	45,228	△10,904(△24.1%)
給配水費	7,347	9,425	△2,078(△22.0%)
業務費	17,706	3,444	14,262(414.1%)
総係費	975	1,090	△115(△10.6%)
減価償却費等	103,944	103,714	230(0.2%)
支払利息	13,220	13,859	△639(△4.6%)
その他	671	671	0(0.0%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	7,834	6,593	1,241(18.8%)

(税込み)

(6) 木之本上水道事業

収入は、横ばいが見込まれます。

支出の面では、廃止施設の除却が未了であったため、10年間で除却を行います。

収入	189,973千円	(消費税抜)	178,001千円)
支出	205,986千円	(消費税抜)	194,014千円)
差引	△16,013千円	(消費税抜)	△16,013千円)
	前年度繰越利益剰余金(予定)	△175,005千円	(平成30年度までの剰余金)
	当年度末未処分利益剰余金	△191,018千円	(平成31年度末の剰余金)

収益的収入および支出(木之本)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
木之本水道事業収益	189,973	194,105	△4,132(△2.1%)
水道料金	141,806	142,291	△485(△0.3%)
受託工事収益	3,016	7,790	△4,774(△61.3%)
受託事業収益	2,877	1,451	1,426(98.3%)
加入金	132	124	8(6.5%)
負担金	1,530	1,642	△112(△6.8%)
長期前受金戻入	40,075	40,198	△123(△0.3%)
その他	537	609	△72(△11.8%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円(%)
木之本水道事業費用	205,986	195,778	10,208(5.2%)
原浄水費	48,125	44,233	3,892(8.8%)
給配水費	7,916	13,092	△5,176(△39.5%)
業務費	3,164	2,770	394(14.2%)
総係費	647	774	△127(△16.4%)
減価償却費等	114,554	103,369	11,185(10.8%)
支払利息	21,669	22,946	△1,277(△5.6%)
その他	532	422	110(26.1%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	8,379	7,172	1,207(16.8%)

(税込み)

(7) 余呉木之本簡易水道

収入では、水道料金の改定を行うため、増加が見込まれます。

支出では、大きな変化はありません。全体として若干増加します。なお、簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する3,356千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	130,023千円 (消費税抜)	123,486千円)
支出	141,798千円 (消費税抜)	135,261千円)
差引	△11,775千円 (消費税抜)	△11,775千円)
	前年度繰越利益剰余金 (予定)	56,891千円 (平成30年度までの剰余金)
	当年度未処分利益剰余金	45,116千円 (平成31年度末の剰余金)

収益的収入および支出(余呉木之本)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円
余呉木之本水道事業収益	130,023	117,696	12,327(10.5%)
水道料金	75,231	65,435	9,796(15.0%)
受託工事収益	3,649	1,565	2,084(133.2%)
受託事業収益	2,479	1,107	1,372(123.9%)
加入金	374	352	22(6.3%)
負担金	4,259	4,596	△337(△7.3%)
長期前受金戻入	43,621	44,247	△626(△1.4%)
その他	410	394	16(4.1%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減 (率)
	千円	千円	千円 (%)
余呉木之本水道事業費用	141,798	139,691	2,107(1.5%)
原浄水費	35,765	35,238	527(1.5%)
給配水費	7,710	5,933	1,777(30.0%)
業務費	1,793	1,523	270(17.7%)
総係費	337	376	△39(△10.4%)
減価償却費等	84,492	85,541	△1,049(△1.2%)
支払利息	6,786	7,431	△645(△8.7%)
その他	441	429	12(2.8%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	3,474	2,220	1,254(56.5%)

(税込み)

(8) 西浅井簡易水道

収入では、水道料金の改定を行うため、増加が見込まれます。

支出では、集福寺浄水場ろ過装置の修繕等が完了したため、原浄水費が大幅に減少します。また、その他費用において、平成30年度国庫補助金に含まれていた消費税相当額を国に返還します。なお、簡易水道の企業債に対する利息返済額の1/2に相当する4,652千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	94,937千円（消費税抜	88,822千円）
支出	104,571千円（消費税抜	98,456千円）
差引	△9,634千円（消費税抜	△9,634千円）
	前年度繰越利益剰余金（予定）	5,493千円（平成30年度までの剰余金）
	当年度未処分利益剰余金	△4,141千円（平成31年度末の剰余金）

収益的収入および支出（西浅井）

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円
西浅井水道事業収益	94,937	90,907	4,030(4.4%)
水道料金	72,403	66,084	6,319(9.6%)
受託工事収益	1,012	1,038	△26(△2.5%)
受託事業収益	2,345	1,180	1,165(98.7%)
加入金	374	352	22(6.3%)
負担金	5,656	5,995	△339(△5.7%)
長期前受金戻入	12,665	15,777	△3,112(△19.7%)
その他	482	481	1(0.2%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減（率）
	千円	千円	千円(%)
西浅井水道事業費用	104,571	133,288	△28,717(△21.5%)
原浄水費	29,834	59,728	△29,894(△50.1%)
給配水費	5,305	5,859	△554(△9.5%)
業務費	1,905	1,411	494(35.0%)
総係費	374	486	△112(△23.0%)
減価償却費等	52,281	53,964	△1,683(△3.1%)
支払利息	9,378	9,866	△488(△4.9%)
その他	736	429	307(71.6%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)
消費税	3,758	545	3,213(589.5%)

(税込み)

4. 原価構成の状況

(1) 原価構成

木之本上水道事業、余呉木之本、西浅井簡易水道事業は、原価が極めて高くなっています。浅井、木之本上水道事業、湖北、余呉木之本、西浅井簡易水道事業は、浄水場の建設や簡易水道統合事業等大規模な建設工事により資産規模が大きく減価償却費等が高くなっています。木之本上水道事業、余呉木之本、西浅井簡易水道事業では、浄水場膜処理施設の維持管理のため動力費や修繕料も高くなっています。事業規模に比べ資産規模が大きく、施設のあり方を含め抜本的なコスト削減が必要です。

(単位：千円)

	企業団			びわ		
	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	394,687	34.9	50.5	26,310	31.3	33.0
支払利息	132,587	11.7	17.0	9,634	11.5	12.1
人件費	322,010	28.4	41.2	19,176	22.8	24.0
委託料	102,882	9.1	13.2	5,902	7.0	7.4
動力費	70,535	6.2	9.0	8,645	10.3	10.8
修繕料	39,400	3.5	5.0	6,550	7.8	8.2
薬品費	13,569	1.2	1.7	118	0.1	0.1
一般経費	56,793	5.0	7.3	7,676	9.2	9.7
計	1,132,463	100.0	144.9	84,011	100.0	105.3

(単位：千円)

	浅井			湖北		
	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	103,797	52.1	83.2	71,452	57.9	89.3
支払利息	19,986	10.0	16.0	10,102	8.2	12.6
人件費	16,106	8.1	12.9	5,962	4.8	7.5
委託料	16,903	8.5	13.5	9,364	7.6	11.7
動力費	19,313	9.7	15.5	9,485	7.7	11.9
修繕料	11,484	5.8	9.2	7,381	6.0	9.2
薬品費	145	0.1	0.1	87	0.1	0.1
一般経費	11,409	5.7	9.2	9,529	7.7	11.9
計	199,143	100.0	159.6	123,362	100.0	154.2

(単位：千円)

	高 月			木之本		
	金 額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金 額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	66,984	48.9	67.2	74,479	49.4	117.2
支払利息	13,220	9.6	13.3	21,669	14.4	34.2
人件費	17,752	13.0	17.8	10,149	6.7	15.9
委託料	8,338	6.1	8.4	10,772	7.1	16.9
動力費	16,313	11.9	16.4	18,091	12.0	28.5
修繕料	6,719	4.9	6.7	5,947	3.9	9.3
薬品費	458	0.3	0.5	1,275	0.8	1.9
一般経費	7,293	5.3	7.2	8,332	5.7	13.4
計	137,077	100.0	137.5	150,714	100.0	237.3

(単位：千円)

	余呉木之本			西浅井		
	金 額	構成比	1㎡当たり単価(円)	金 額	構成比	1㎡当たり単価(円)
減価償却費等	40,871	46.5	93.5	39,616	46.9	90.7
支払利息	6,786	7.7	15.5	9,378	11.1	21.5
人件費	4,419	5.0	10.1	4,124	4.9	9.5
委託料	12,203	13.9	27.9	8,713	10.3	19.9
動力費	12,091	13.8	27.7	10,424	12.3	23.8
修繕料	5,143	5.8	11.8	4,969	5.9	11.4
薬品費	319	0.4	0.7	1,926	2.3	4.4
一般経費	6,088	6.9	14.0	5,375	6.3	12.2
計	87,920	100.0	201.2	84,525	100.0	193.4

※原価に算入されない費用を除く。

(3) 給水原価と供給単価

企業団、びわは供給単価が給水原価を上回り、原価を水道料金で回収できていますが、他の区域は供給単価が給水原価を下回り、原価を水道料金で回収できていません。

	企業団	びわ	浅井	湖北
給水原価 (円)	144.9	105.3	159.6	154.2
供給単価 (円)	160.5	153.4	146.9	145.6

	高 月	木之本	余呉木之本	西浅井
給水原価 (円)	137.5	237.3	201.2	193.4
供給単価 (円)	119.6	204.9	158.0	152.0

5. 資本的収入および支出

(1) 企業団水道事業

踏切や河川の横断箇所の布設替えを行うため、建設改良費が増加し、これらの財源としての企業債も増加しています。

収入	227,241千円	不足分補てん財源使用		
支出	826,897千円		消費税資本的収支調整額	16,667千円
差引	△599,656千円		当年度分損益勘定留保資金	394,687千円
			過年度分損益勘定留保資金	188,302千円
			減債積立金	0千円

資本的収入および支出(企業団)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
資本的収入	227,241	33,041	194,200(587.8%)
企業債	219,600	25,400	194,200(764.6%)
分担金	7,641	7,641	0(0.0%)
補助金	0	0	0(0.0%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
資本的支出	826,897	717,993	108,904(15.2%)
建設改良費	226,947	70,083	156,864(223.8%)
営業設備費	2,019	14,945	△12,926(△86.5%)
企業債償還金	592,931	627,965	△35,034(△5.6%)
予備費	5,000	5,000	0(0.0%)

(税込み)

(2) びわ上水道事業

大規模な工事の予定はなく、過去の事業に対する企業債の返済が継続します。

収入	2,946千円	不足分補てん財源使用		
支出	54,882千円		消費税資本的収支調整額	136千円
差引	△51,936千円		当年度分損益勘定留保資金	26,310千円
			過年度分損益勘定留保資金	25,490千円
			減債積立金	0千円

資本的収入および支出(びわ)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
びわ資本的収入	2,946	59,839	△56,893(△95.1%)
企業債	0	36,600	△36,600(△100.0%)
分担金	2,946	23,239	△20,293(△87.3%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
びわ資本的支出	54,882	117,425	△62,543(△53.3%)
建設改良費	2,830	59,850	△57,020(△95.3%)
営業設備費	110	110	0(0.0%)
企業債償還金	50,942	56,465	△5,523(△9.8%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

(3) 浅井上水道事業

地域水道ビジョンに基づく事業を進めるため、基本計画の作成と認可変更業務を委託し、合わせて、新規井戸水源の設計や建設工事を開始します。このため建設改良費が増加し、これらの財源としての企業債も増加しています。その他、過去の簡易水道統合事業等の企業債の返済を継続します。なお、簡易水道時代の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する42,403千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	127,048千円	不足分補てん財源使用	
支出	195,204千円		
差引	△68,156千円		
		消費税資本的収支調整額	6,932千円
		当年度分損益勘定留保資金	61,224千円
		過年度分損益勘定留保資金	0千円
		減債積立金	0千円

資本的収入および支出(浅井)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
浅井資本的収入	127,048	92,103	34,945(37.9%)
企業債	70,700	34,900	35,800(102.6%)
分担金	56,348	57,203	△855(△1.5%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
浅井資本的支出	195,204	163,330	31,874(19.5%)
建設改良費	105,580	72,913	32,667(44.8%)
営業設備費	132	132	0(0.0%)
企業債償還金	88,492	89,285	△793(△0.9%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

(4) 湖北簡易水道

昨年の豪雨で崩落した西部配水池(湖北町山本)管理道路の復旧を土地所有者の(株)ヤンマーおよび長浜市にも負担をいただきながら行います。簡易水道統合事業に伴う水道管路布設工事跡の舗装復旧工事等を行います。その他、簡易水道統合事業等による企業債の返済を継続します。なお、簡易水道の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する26,310千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	89,101千円	不足分補てん財源使用		
支出	125,618千円		消費税資本的収支調整額	5,238千円
差引	△36,517千円		当年度分損益勘定留保資金	31,279千円
			過年度分損益勘定留保資金	0千円
			減債積立金	0千円

資本的収入および支出(湖北)

収入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
湖北資本的収入	89,101	162,985	△73,884(△45.3%)
企業債	43,700	131,300	△87,600(△66.7%)
分担金	45,401	31,685	13,716(43.3%)

(税込み)

支出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
湖北資本的支出	125,618	189,988	△64,370(△33.9%)
建設改良費	71,702	137,287	△65,585(△47.8%)
営業設備費	119	119	0(0.0%)
企業債償還金	52,797	51,582	1,215(2.4%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

(5) 高月上水道事業

地域水道ビジョンに基づく事業を進めるため、基本計画の作成と認可変更業務を委託します。合わせて、新規井戸水源の設計や建設工事を開始します。このため建設改良費が増加し、これらの財源としての企業債も増加しています。なお、高月上水道事業に統合した簡易水道分の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する5,598千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	109,514千円	不足分補てん財源使用		
支出	158,762千円		消費税資本的収支調整額	8,288千円
差引	△49,248千円		当年度分損益勘定留保資金	40,960千円
			過年度分損益勘定留保資金	0千円
			減債積立金	0千円

資本的収入および支出(高月)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
高月資本的収入	109,514	89,197	20,317(22.8%)
企業債	101,000	81,900	19,100(23.3%)
分担金	8,514	7,297	1,217(16.7%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
高月資本的支出	158,762	171,953	△13,191(△7.7%)
建設改良費	112,880	131,910	△19,030(△14.4%)
営業設備費	121	121	0(0.0%)
企業債償還金	44,761	38,922	5,839(15.0%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

(6) 木之本上水道事業

大規模な建設改良工事の予定はなく、大音浄水場建設等による企業債の返済を継続します。

収入	2,946千円	不足分補てん財源使用	
支出	83,946千円		
差引	△81,000千円		
		消費税資本的収支調整額	951千円
		当年度分損益勘定留保資金	74,479千円
		過年度分損益勘定留保資金	5,570千円
		減債積立金	0千円

資本的収入および支出(木之本)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
木之本資本的収入	2,946	106,346	103,400(△97.2%)
企業債	0	103,400	△103,400(△100.0%)
分担金	2,946	2,946	0(0.0%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
木之本資本的支出	83,946	176,881	△92,935(△52.5%)
建設改良費	11,830	106,427	△94,597(△88.9%)
営業設備費	149	104	45(43.3%)
企業債償還金	70,967	69,350	1,617(2.3%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

(7) 余呉木之本簡易水道事業

大規模な建設改良工事の予定はなく、過去の事業に対する企業債の返済を継続します。なお、簡易水道の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する19,462千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	24,908千円	}	不足分補てん財源使用		
支出	45,374千円			消費税資本的収支調整額	321千円
差引	△20,466千円			当年度分損益勘定留保資金	20,145千円
				過年度分損益勘定留保資金	0千円
				減債積立金	0千円

資本的収入および支出(余呉木之本)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
余呉木之本資本的収入	24,908	24,326	582(2.4%)
企業債	2,500	0	2,500(---%)
分担金	22,408	24,326	△1,918(△7.9%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
余呉木之本資本的支出	45,374	48,722	△3,348(△6.9%)
建設改良費	5,330	4,630	700(15.1%)
営業設備費	119	107	12(11.2%)
企業債償還金	38,925	42,985	△4,060(△9.4%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

(8) 西浅井簡易水道事業

菅浦浄水場のろ過装置の延命化工事を行い、財源として企業債の借入れを行います。その他、永原浄水場建設等に対する企業債の返済を継続します。なお、簡易水道の企業債に対する元金返済額の1/2に相当する35,959千円は一般会計から繰り入れされます。

収入	49,505千円	}	不足分補てん財源使用		
支出	86,496千円			消費税資本的収支調整額	924千円
差引	△36,991千円			当年度分損益勘定留保資金	36,067千円
				過年度分損益勘定留保資金	0千円
				減債積立金	0千円

資本的収入および支出(西浅井)

収 入	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
西浅井資本的収入	49,505	77,648	△28,143(△36.2%)
企業債	10,600	42,300	△31,700(△75.0%)
分担金	38,905	35,348	3,557(10.1%)

(税込み)

支 出	31年度当初予算	30年度当初予算	増減(率)
	千円	千円	千円
西浅井資本的支出	86,496	111,227	△24,731(△22.2%)
建設改良費	13,470	45,316	△31,846(△70.3%)
営業設備費	107	107	0(0.0)
企業債償還金	71,919	64,804	7,115(11.0%)
予備費	1,000	1,000	0(0.0%)

(税込み)

6. 平成31年度事業計画

(1) 経営の持続

① 水道事業統合のための基本計画の作成および認可変更

浅井	21,000千円
湖北(簡水)	9,000千円
高月	9,000千円
木之本	9,000千円

地域水道ビジョンに基づき水道事業の再編を行うための基本計画の作成および認可変更を行うものです。

(2) 安定した給水

① 取水施設建設のための設計業務委託および建設工事

浅井	49,400千円
高月	98,800千円

地域水道ビジョンに基づき水源の強化を図るため、浅井、高月区域で新規の取水施設の建設を行うものです。

② 配水管整備事業

企業団、びわ、浅井、湖北、高月、木之本、余呉木之本(簡水)、西浅井(簡水)

106,230千円

漏水の危険性の高い配水管の布設替、道路や河川工事に伴い支障となる配水管の移設、水道工事跡の舗装本復旧工事等を行います。特に企業団水道事業において踏切下配水管の更新を行い、湖北簡易水道事業においては、地域水道ビジョンに基づき大規模な送配水管路の更新を行うため、設計業務を委託します。

③ 旧大井橋撤去に伴う配水管移設工事

企業団 192,300千円

旧虎姫町大井姉川にかかる旧大井橋が撤去されるため、添架している配水管の移設を行うものです。同じく添架線を有するN T Tと共同で河川下の推進工事を行います。

(3) 水道水の安全性の確保

① 膜モジュール薬品洗浄

木之本 6,050千円

余呉木之本(簡水) 3,327千円

西浅井(簡水) 2,484千円

企業団が経営する水道事業および簡易水道事業には膜ろ過施設を有する浄水場が5箇所あり、1~2年に一度の薬品洗浄と数年に一度の膜交換が必要になります。平成31年度は、膜モジュール交換の交換はなく、木之本、菅並、中河内、永原の各浄水場で膜モジュールの薬品洗浄を行う予定です。

② 菅浦浄水場ろ過装置延命化工事

西浅井(簡水) 8,640千円

菅浦浄水場のろ過装置を長期にわたり使用するため、延命化工事を行うものです。

(4) 災害復旧

湖北西部配水池管理道路復旧工事

湖北(簡水) 17,572千円

昨年7月に発生した想定外の豪雨により崩落した湖北町山本、西部配水池管理道路について、復旧工事を行います。

消費税は、法律上最終消費者に納付義務があるとされています。収入にかかる消費税は国に納め、支出にかかる消費税は返還されます。このため、消費税の増税は、増税分の水道料金改定を行えば、水道事業の経営に直接的には影響しません。

支出に計上されている消費税は、収益的収支の水道料金に含まれる消費税と各支出に含まれる消費税の差と資本的収支の分担金や負担金に含まれる消費税と工事費等に含まれる消費税の差を合計し、さらに貯蔵品購入にかかる消費税を差し引いたものになります。貯蔵品購入は企業団水道事業で一括購入するため、企業団水道事業で全事業分を差し引いています。その後、実際に使用するため出庫する時に、各事業の予算科目で支出されます。このため、貯蔵品にかかる消費税はすべて企業団水道事業で計上しています。

また、建設工事が翌年度以降に延期された場合等に予算額が不足することがあるため、資本的収支の分を含まずに計上しています。

これらのことから、企業団水道事業以外は税込と税抜きの収支の差が同じになりますが、企業団水道事業は税込と税抜きの収支の差が異なります。